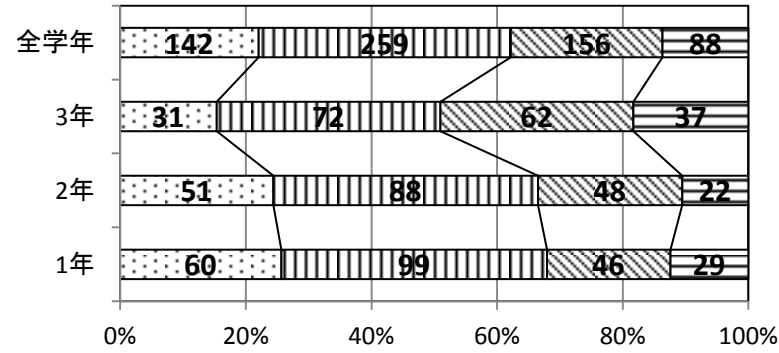
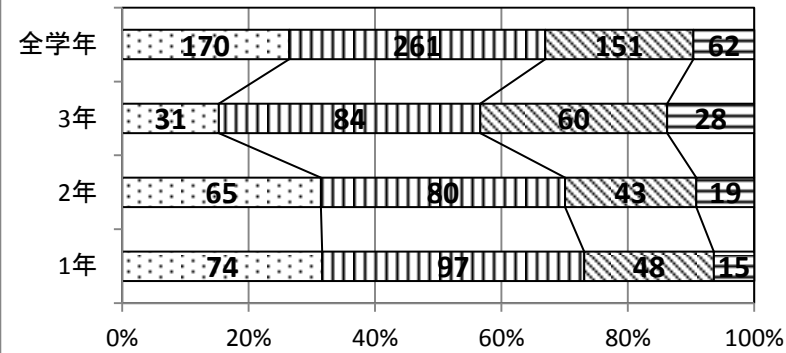


2016(平成28)年度 学校教育自己診断(生徒)
1年236 2年210 3年203

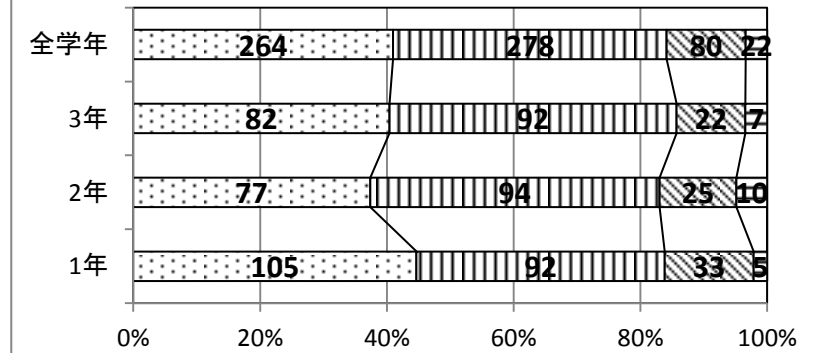
1. 学校に行くのが楽しい。



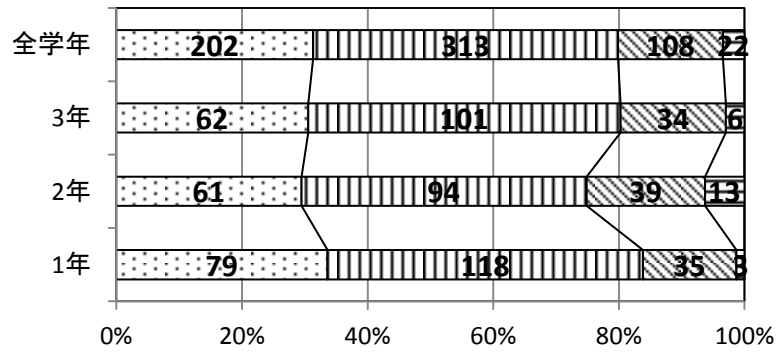
2. 自分のクラスは楽しい。



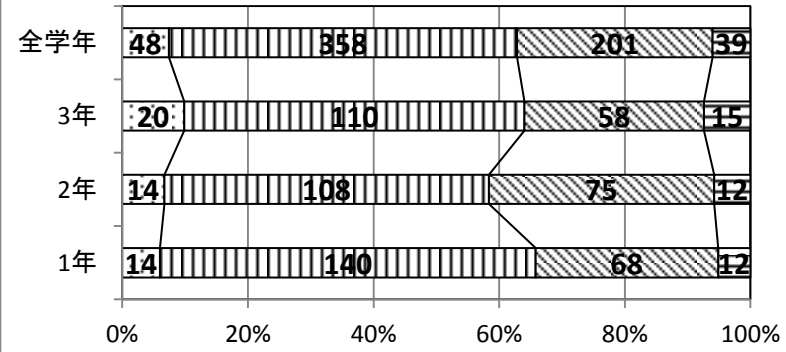
3. この学校には、他の学校にない特色がある。



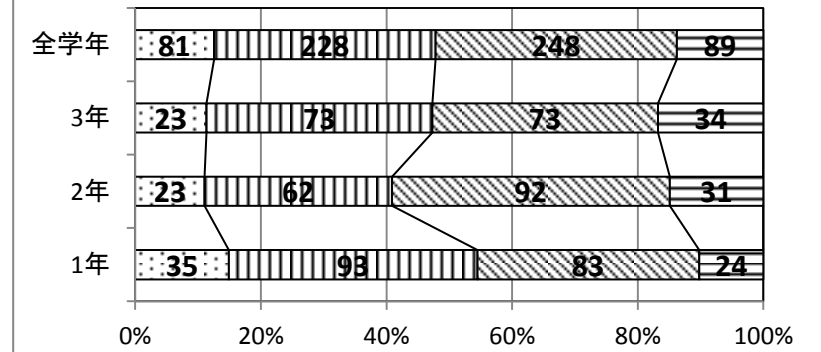
4. 選択教科は工夫されていて、自分の学びたいことを選べる。



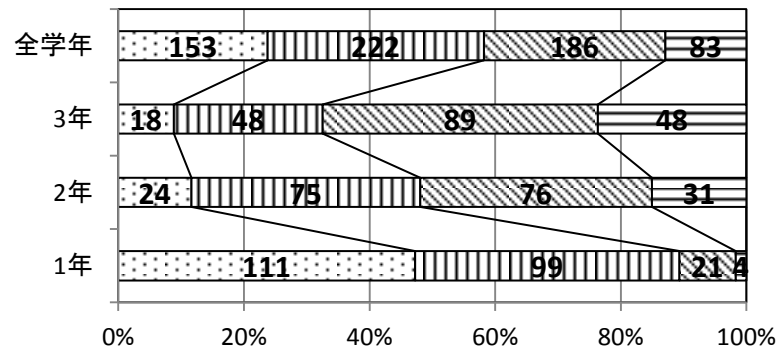
5. 授業はわかりやすく、集中して受けることができる。



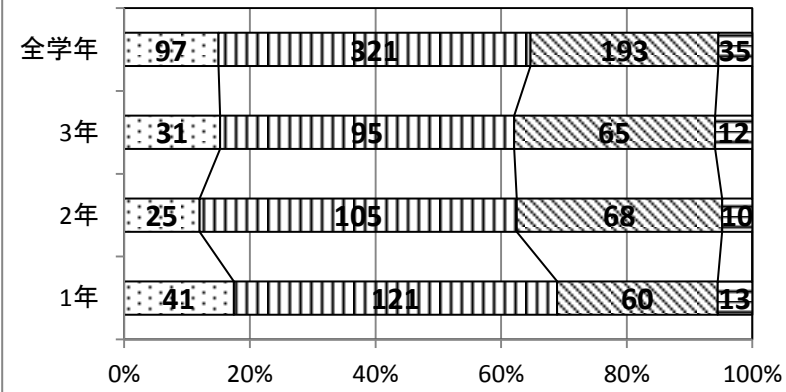
6. 授業では、実験・観察・実習をしたり、学校外へ見学に行く機会がある。



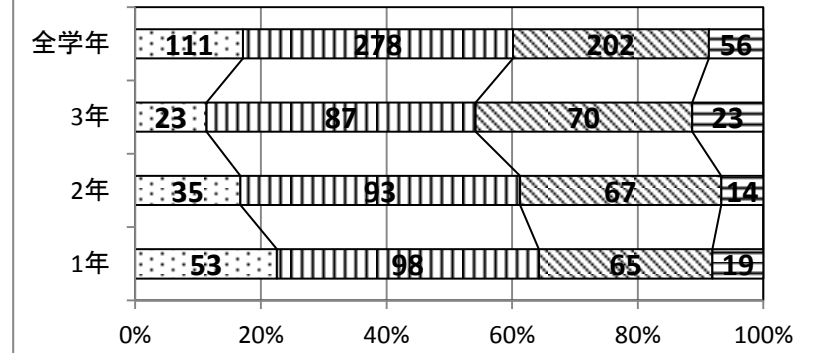
7. 授業で自分の考えをまとめたり、パソコンなどを使用して発表する機会がある。



8. 教え方に工夫をしている先生が多い。



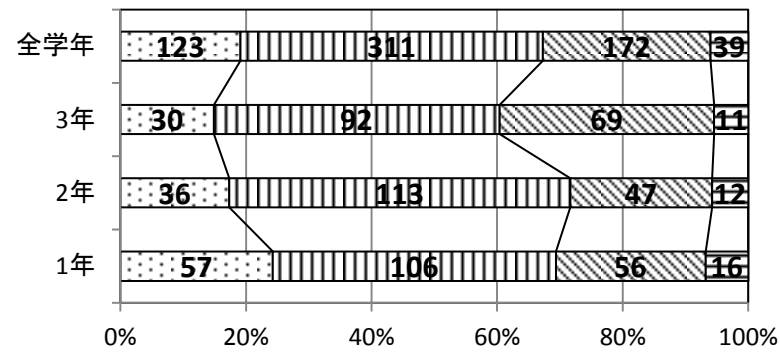
9. 授業でわからないことについて、先生に質問しやすい。



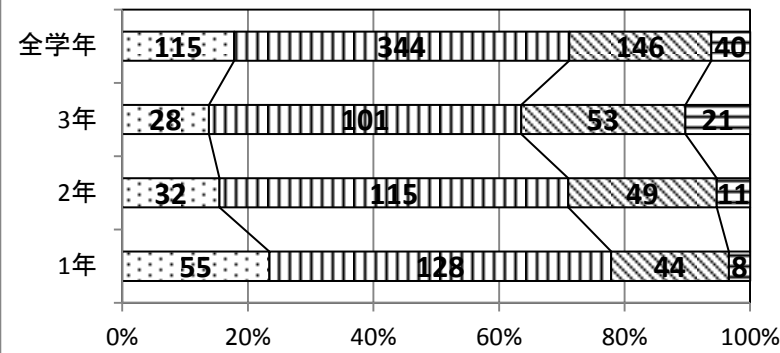
あてはまる ややあてはまる あまりあてはまらない まったくあてはまらない

2016(平成28)年度 学校教育自己診断(生徒)
1年236 2年210 3年203

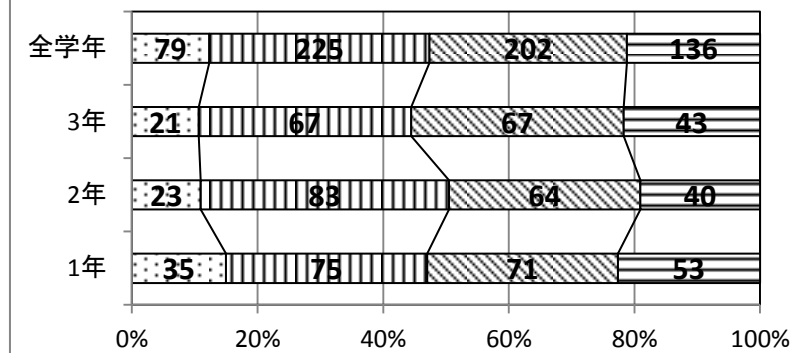
10. 先生は、学習で自分が努力したことを認めてくれる。



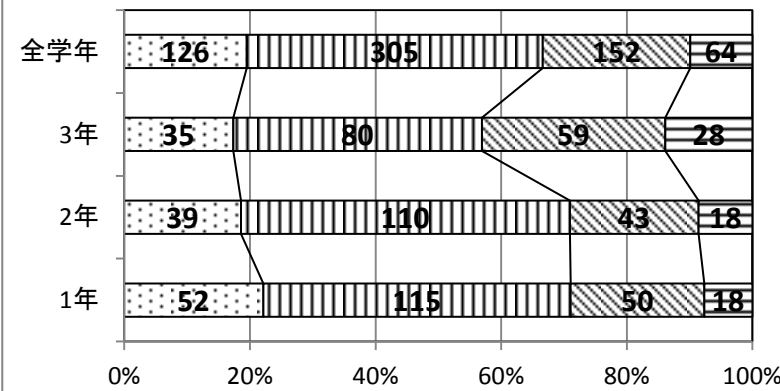
11. 学習の評価の方法や基準について、納得できる。



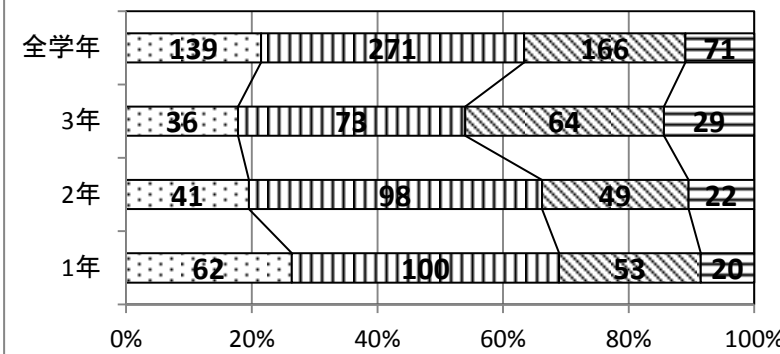
12. 担任の先生以外に保健室等で、悩みや相談に親身になって応じてくれる先生がいる。



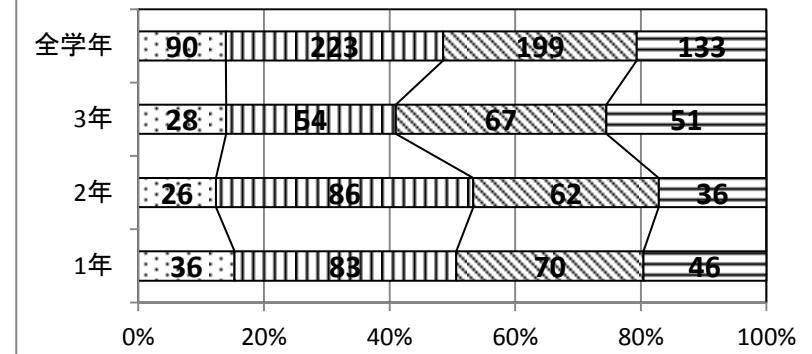
13. 先生は協力して生徒を指導している。



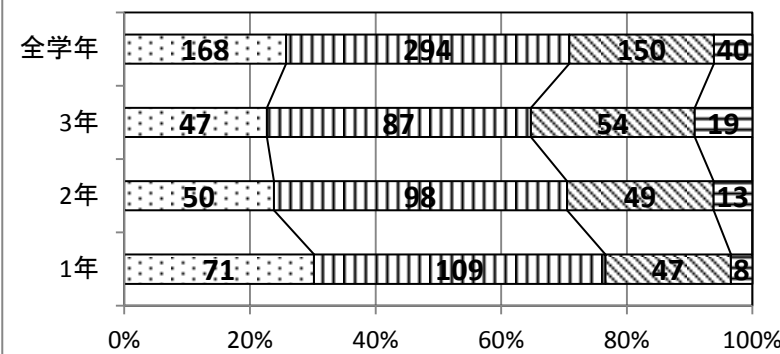
14. 先生はいじめなど私たちが困っていることについて真剣に対応してくれる。



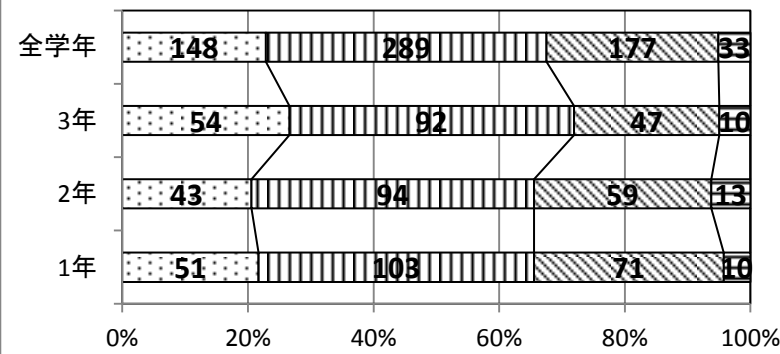
15. 学校生活についての先生の指導は納得できる。



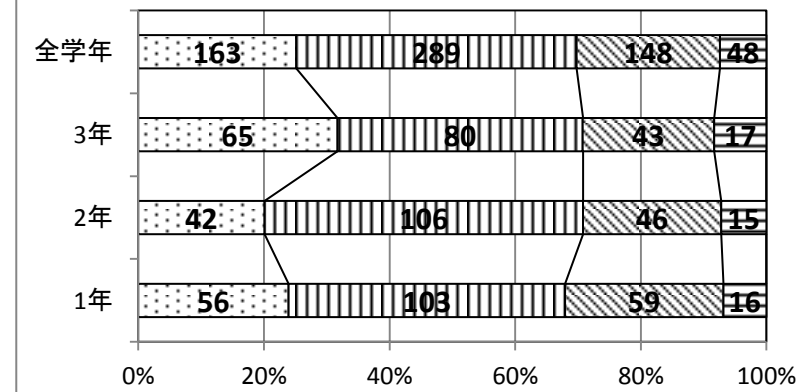
16. 学校は、生活規律や学習規律などの基本的習慣の確立に力を入れている。



17. 授業やホームルーム等で、将来の進路や生き方について考える機会がある。



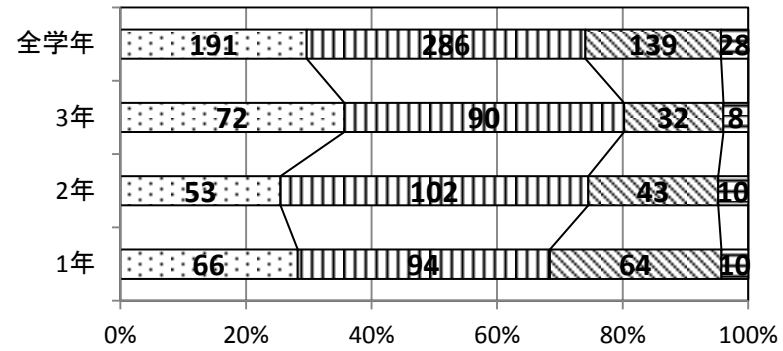
18. 学校は、進路について情報を知らせてくれる。



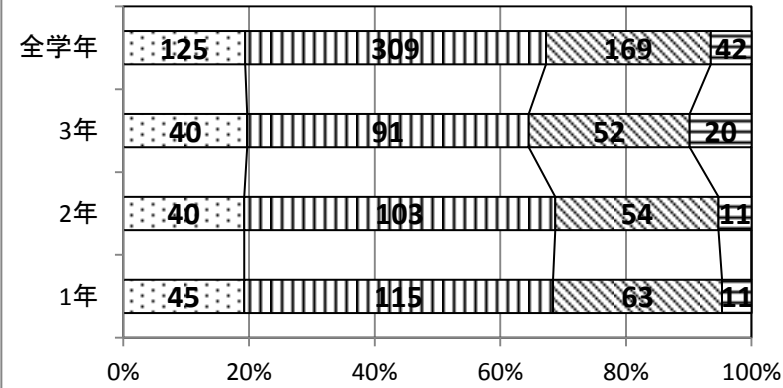
あてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

2016(平成28)年度 学校教育自己診断(生徒)
1年236 2年210 3年203

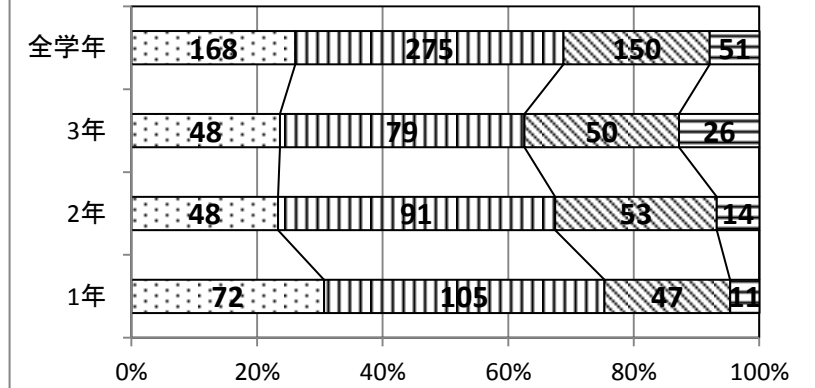
19. 学校は、奨学金制度についての情報を知らせてくれる。



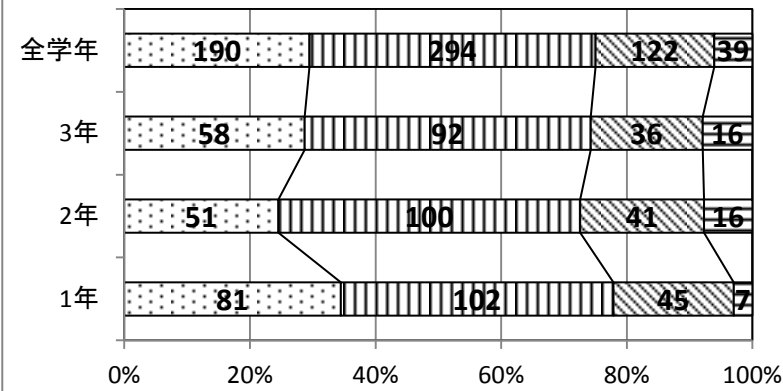
20. ホームルーム活動は活発である。



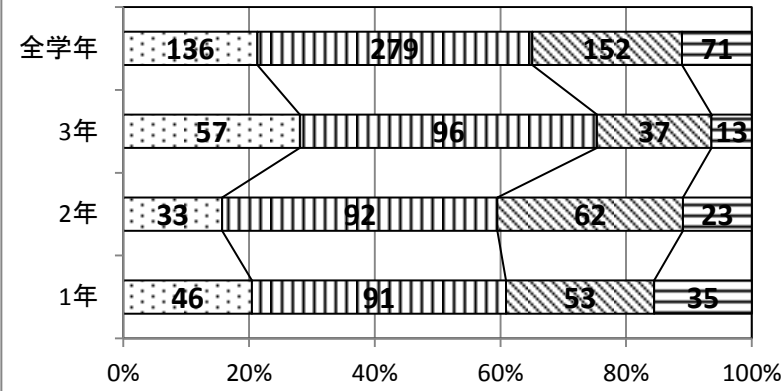
21. 文化祭は周りとの協力しておこなえる。



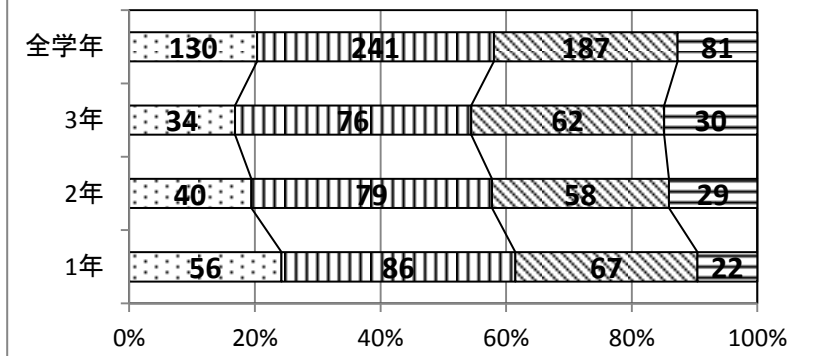
22. 体育祭は周りとの協力しておこなえる。



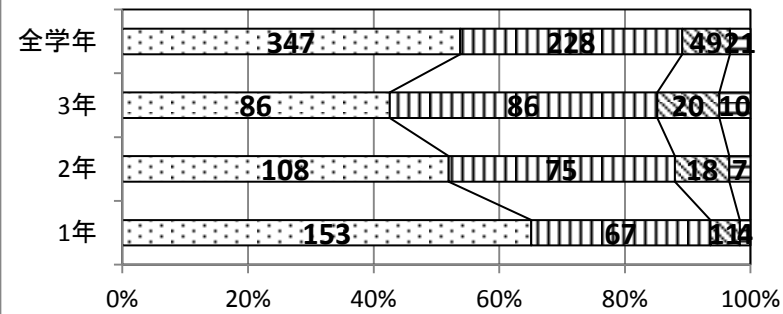
23. 生徒会活動は活発である。



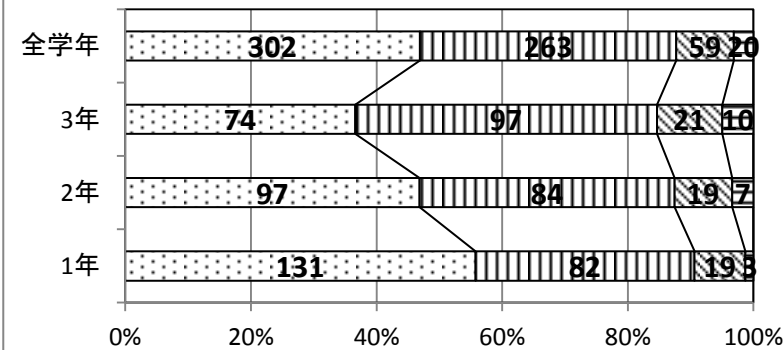
24. 部活動体験・仮入部などを通じて部活動の活性化に工夫している。



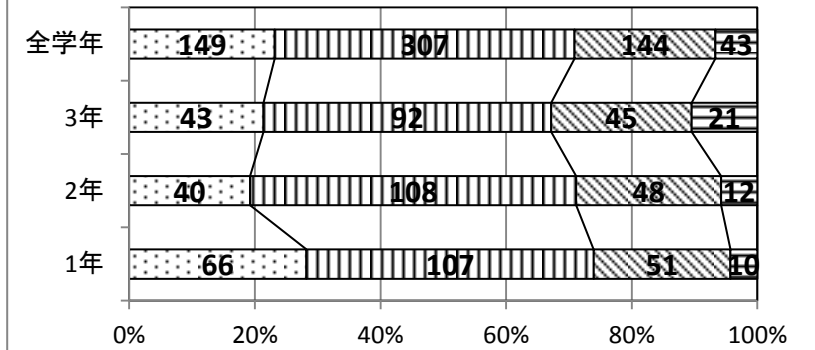
25. 総合やホームルームなどの時間に、多文化理解公演会やアイマスク・車いす体験などの機会を通じて人権について考える機会がある。



26. 総合やホームルームなどの時間に、命の大切さや人間関係のルールについて学ぶ機会がある。



27. 環境、国際理解、福祉ボランティアなどについて学習する機会がある。



あてはまる

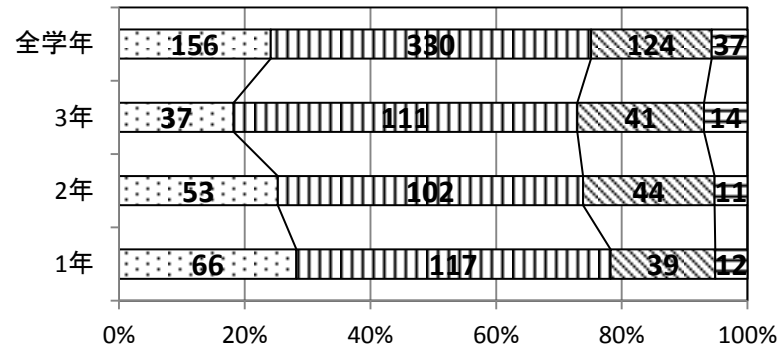
ややあてはまる

あまりあてはまらない

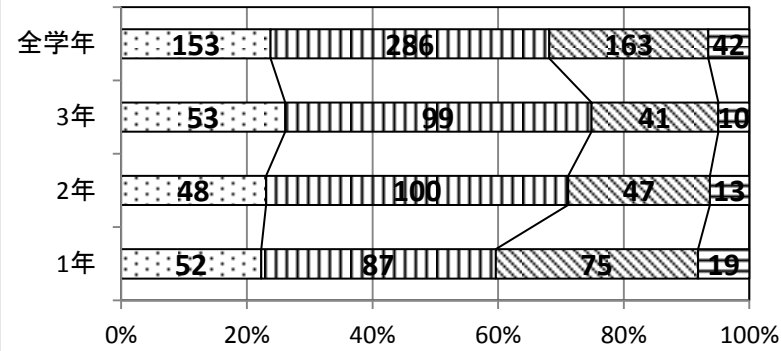
まったくあてはまらない

2016(平成28)年度 学校教育自己診断(生徒)
1年236 2年210 3年203

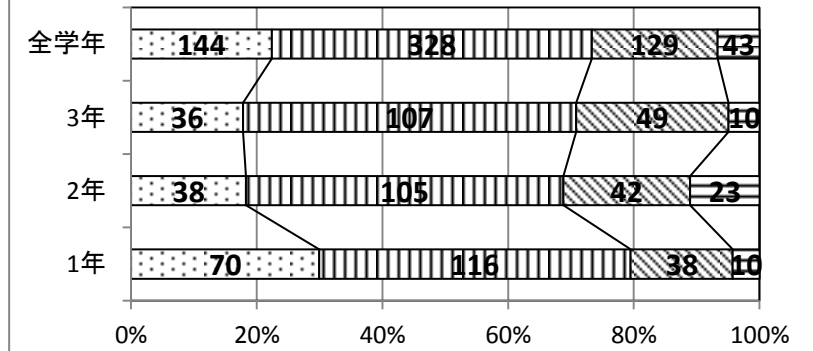
28. 先生は、責任をもって、授業やその他の仕事に当たっている。



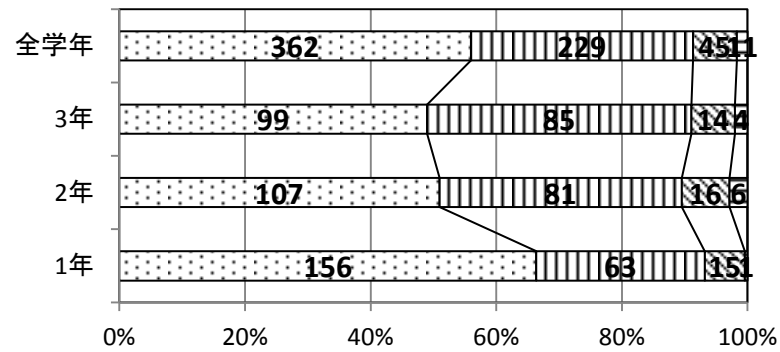
29. 学校で、事件・地震や火災などが起こった場合、どう行動したらよいか、知らされている。



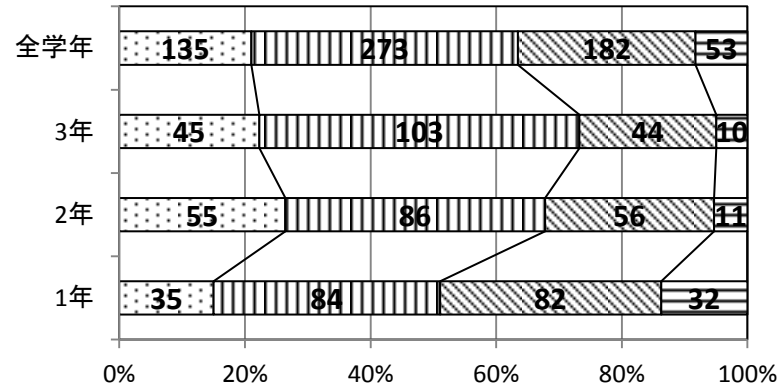
30. 教室・特別教室・運動場などは、学校生活を送りやすいように整備されている。



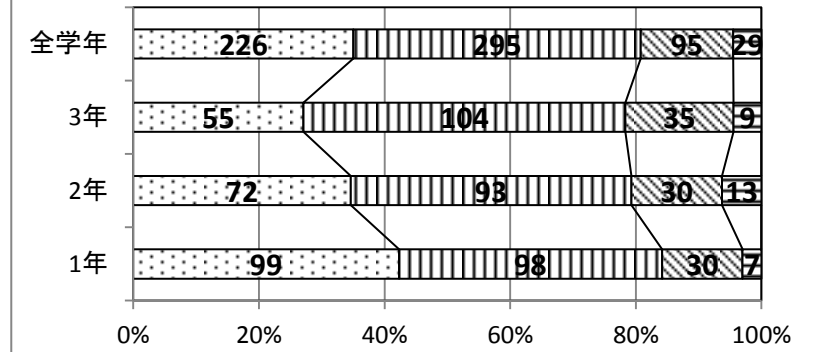
31. ビデオ、スライドなどの視聴覚機器やコンピュータやプロジェクターを使った授業がある。



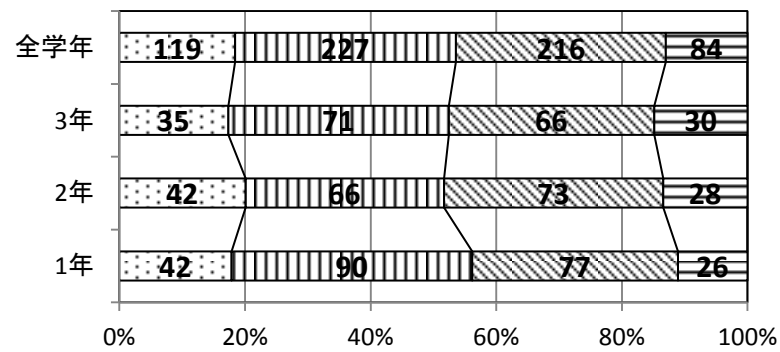
32. 他の先生が授業を見学に来ることがある。



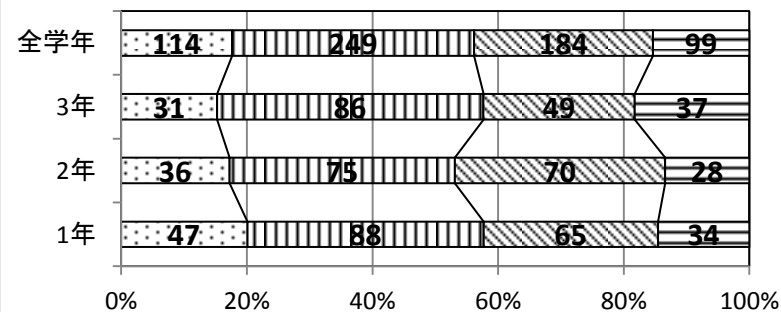
33. 先生は、成績などの個人情報や他の人に知られたくない秘密を守ってくれる。



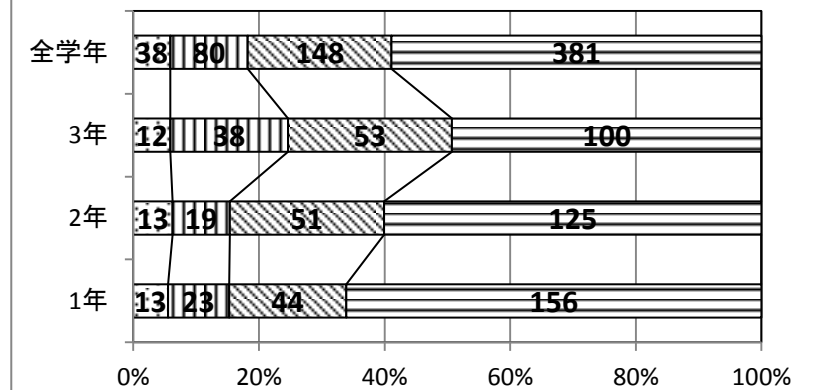
34. 授業や部活動などで、地域の人々とかかわる機会がある。



35. 授業や部活動、学校行事などを通して、ほかの学校や支援学校・幼稚園・保育園などと交流することがある。



36. 学校のホームページをよく見る。

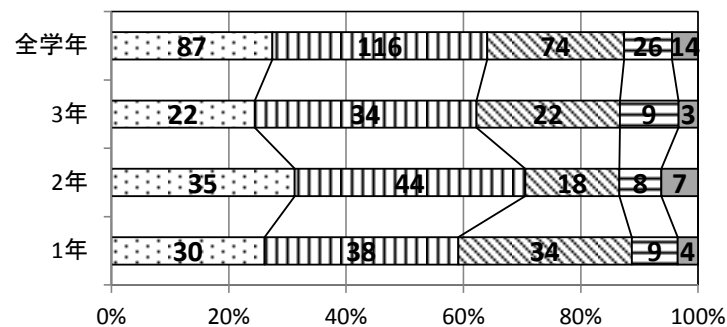


あてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない

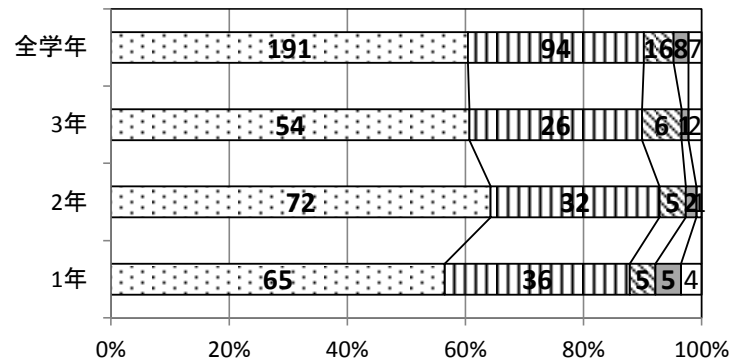
2016(平成28)年度 学校教育自己診断(保護者)

1年:114 2年:112 3年:81

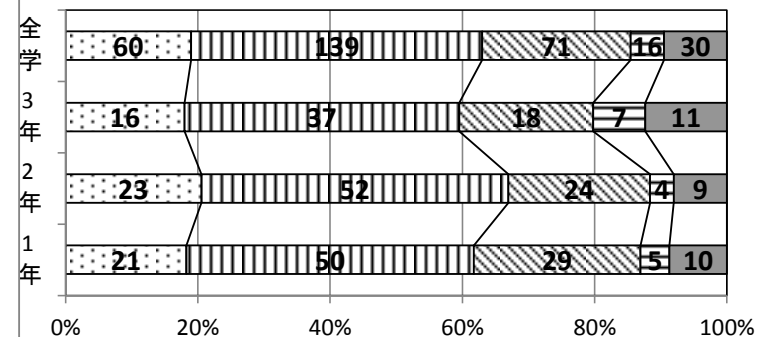
1. 生徒は学校や自分のクラスが楽しいと言っている。



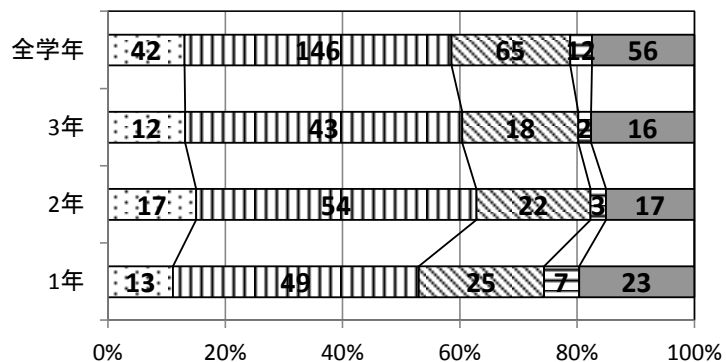
2. 生徒は、学校に友達がいると言っている。



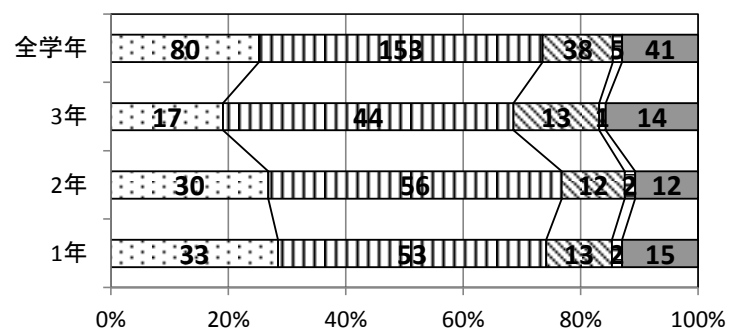
3. 学校の雰囲気がよく、生徒が生き生きしている。



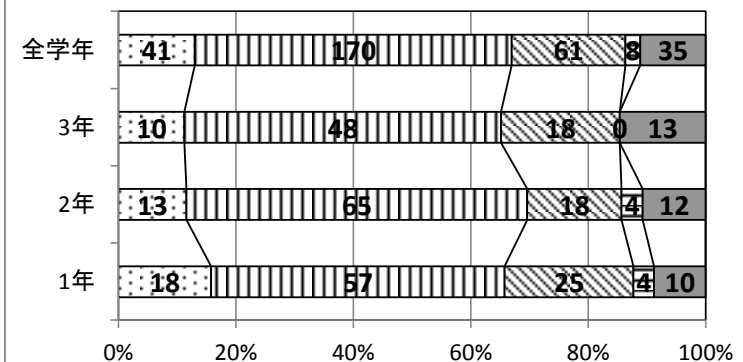
4. 先生は生徒を理解している。



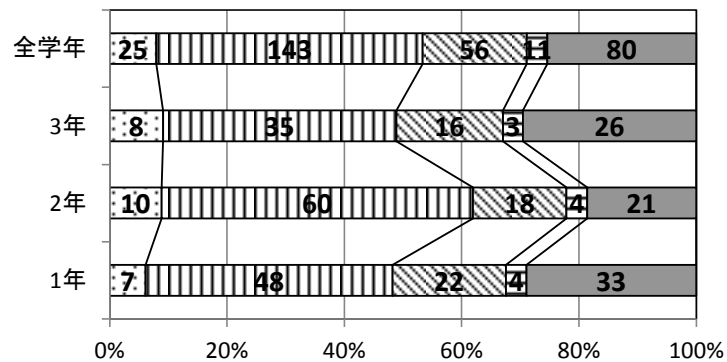
5. この学校は、他の学校にない特色ある教育活動に取り組んでいる。



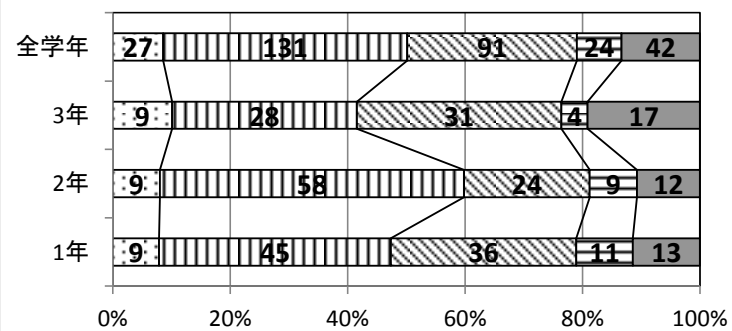
6. 学校は、教育方針をわかりやすく伝えている。



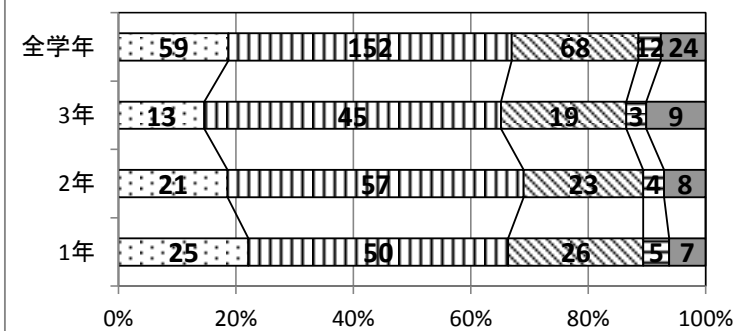
7. 学校は、保護者の願いにこたえている。



8. 生徒は、授業が楽しくわかりやすいと言っている。



9. 学習の内容や進捗等を、懇談や通信などによって知ることができる。



よくあてはまる

ややあてはまる

あまりあてはまらない

まったくあてはまらない

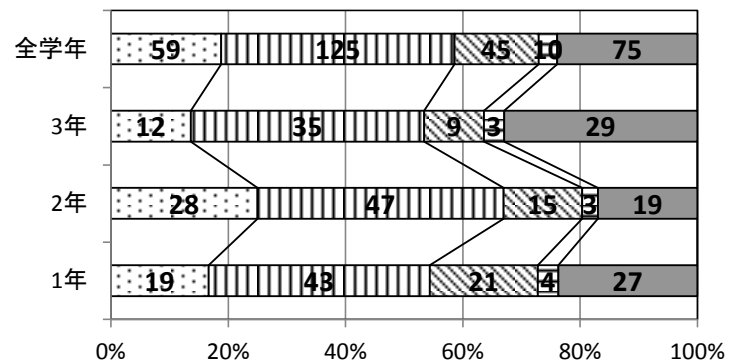
わからない

2016(平成28)年度 学校教育自己診断(保護者)

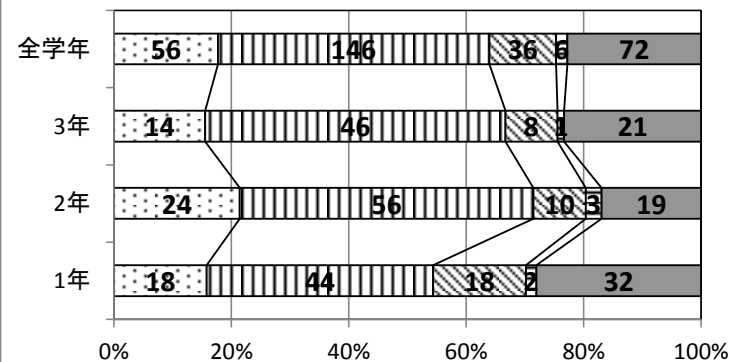
1年:114 2年:112 3年:81

No.2

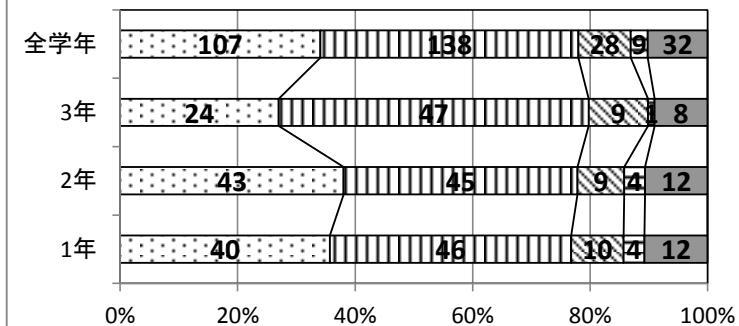
10. 先生は生徒の評価を適切・公平に行っている。



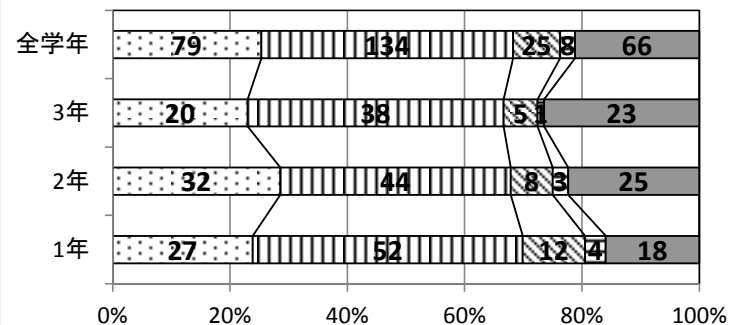
11. 学校は、保護者の相談に適切に応じている。



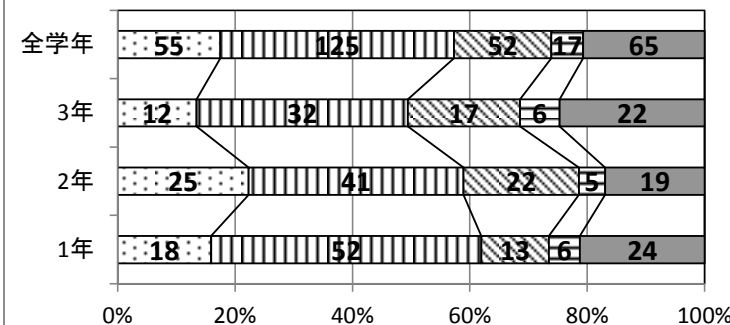
12. 先生は生徒のまちがった行動を厳しく指導している。



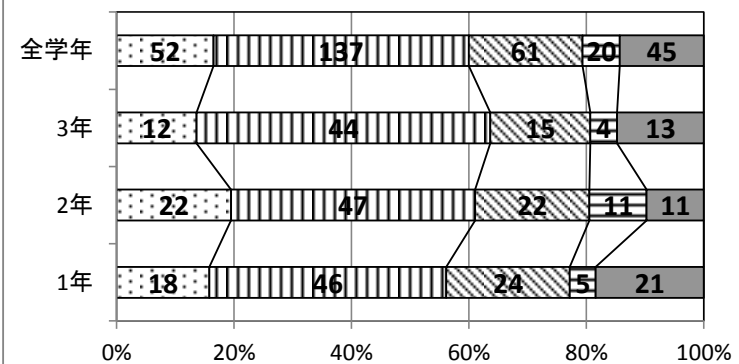
13. 学校はいじめや暴力のない学校づくりに取り組んでいる。



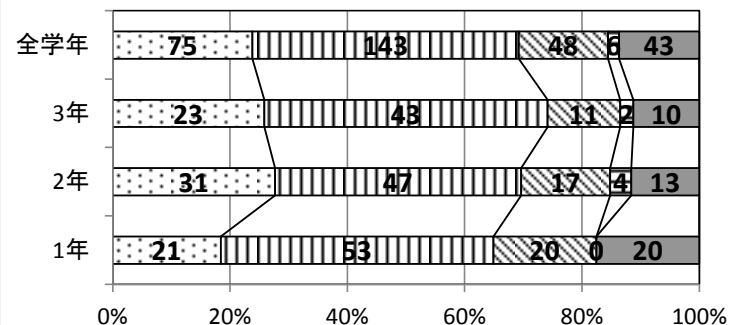
14. 生徒の心身の健康について、気軽に先生に相談できる。



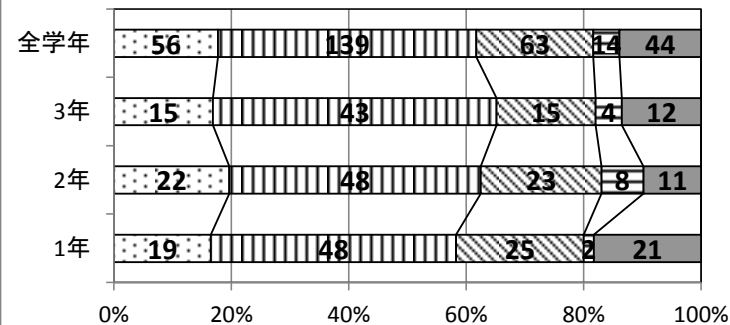
15. 学校の生徒指導の方針に共感できる。



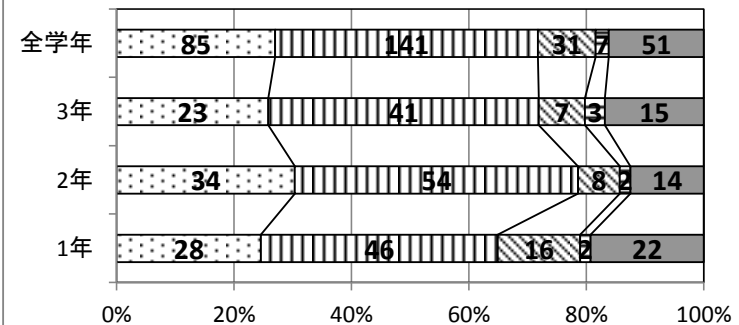
16. 学校は将来の進路や職業などについて適切な指導と情報提供を行っている。



17. 学校は、進路に関して、家庭への連絡や情報提供を行っている。



18. 文化祭や体育祭・修学旅行などの学校行事は、積極的に参加できるよう工夫されている。



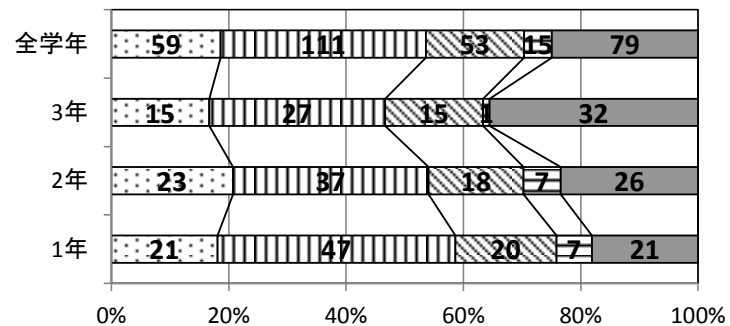
よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない
 わからない

2016(平成28)年度 学校教育自己診断(保護者)

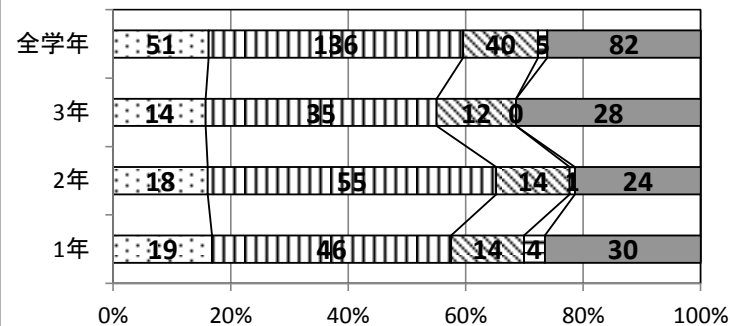
1年:114 2年:112 3年:81

No.3

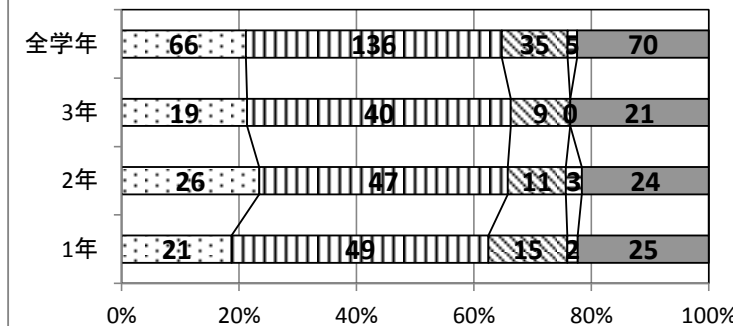
19. 部活動体験・仮入部などを通じて部活動の活性化に学校は努力している。



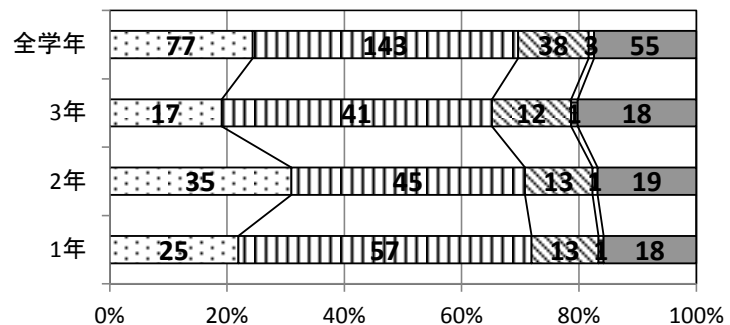
20. 学校は、豊かな心を持った生徒を育て、生徒に人権を尊重する意識を育てようとしている。



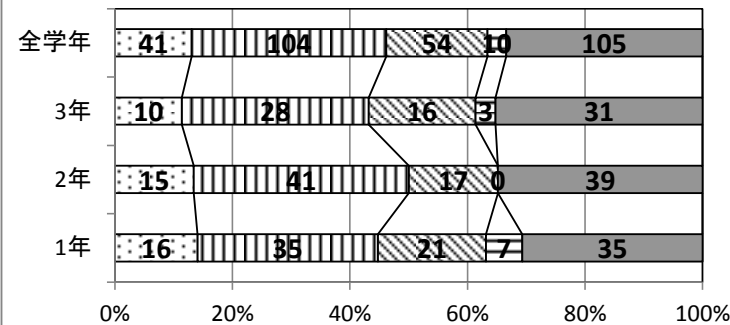
21. 学校は生徒に生命を大切にする心や社会ルールを守る態度を育てようとしている。



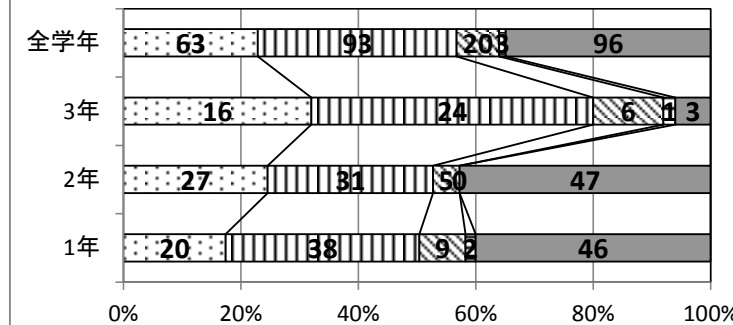
22. 学校は、環境、国際理解・福祉ボランティア等の新しい教育課題について学ばせている。



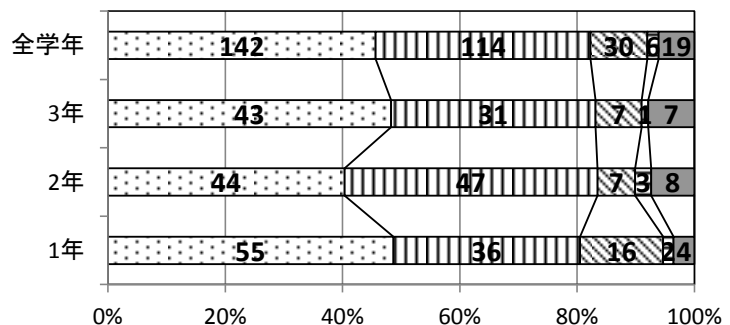
23. 先生は、どんな時も、生徒の人権を尊重する姿勢で指導に当たっている。



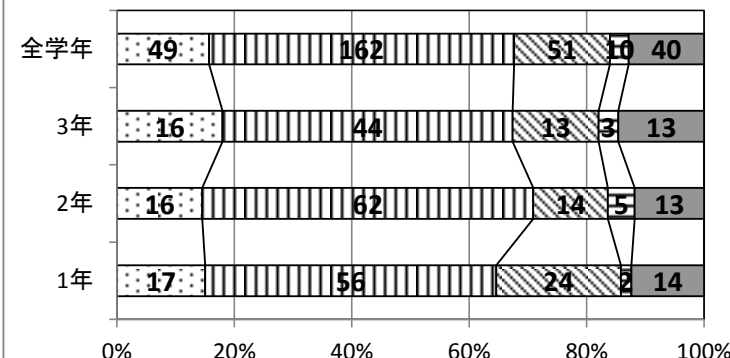
24. 学校は、外国から帰国または来日した生徒や保護者に対して十分に支援している。



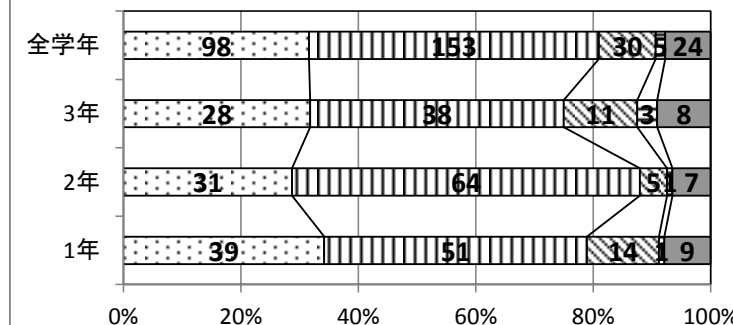
25. 地震や台風などの場合の対応については、生徒や保護者に知らされている。



26. 学校の施設・設備は学習環境面で満足できる。



27. 学校は、保護者が授業を参観する機会を設けている。



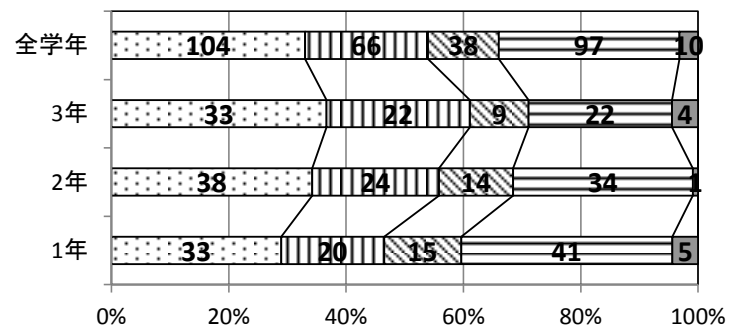
よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない
 わからない

2016(平成28)年度 学校教育自己診断(保護者)

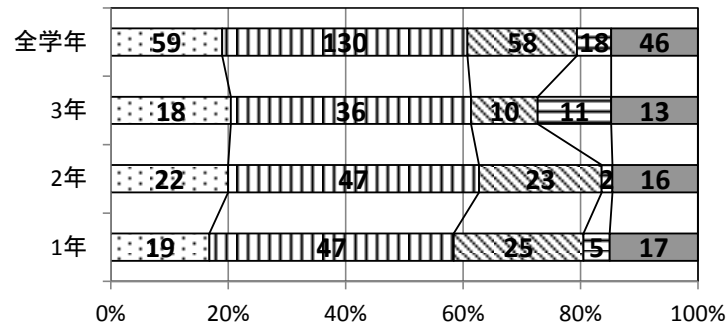
1年:114 2年:112 3年:81

No.4

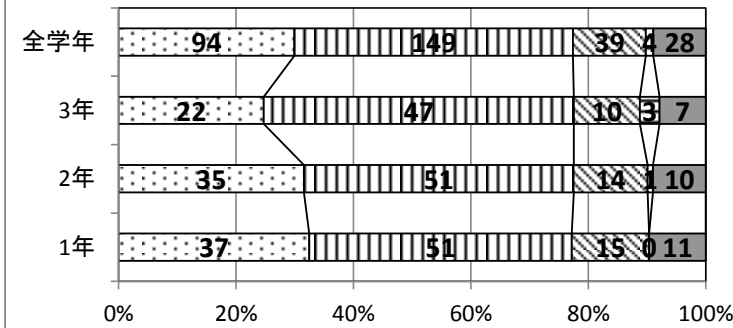
28. 学校の体育祭や文化祭などの学校行事に参加したことがある。



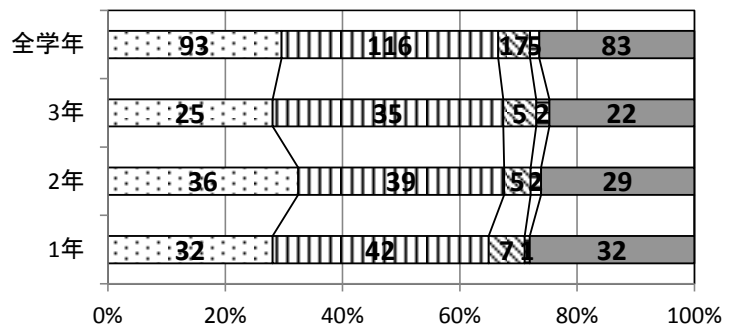
29. 学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている。



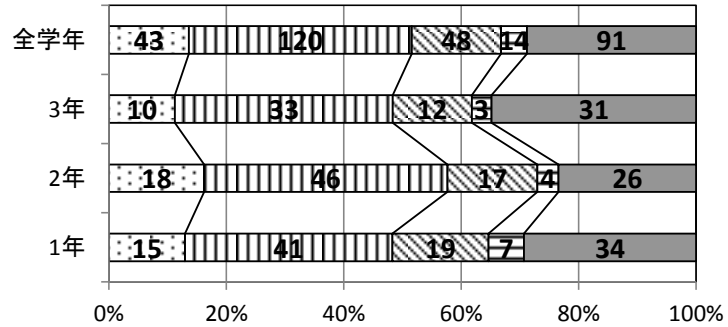
30. 学校が保護者に出す文書・事務連絡等は適切である。



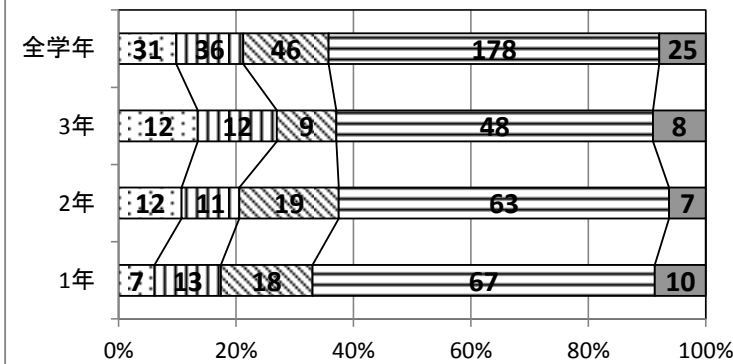
31. 学校では生徒に関する個人情報を守られている。



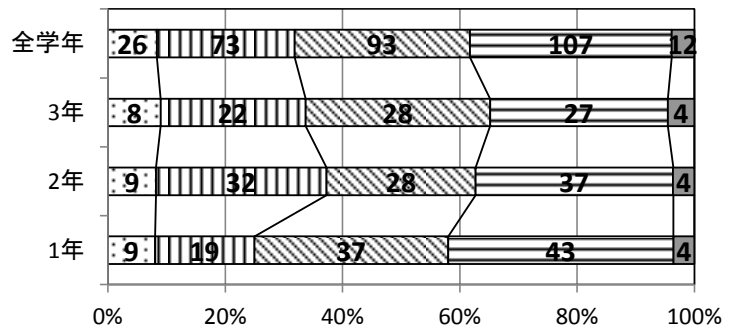
32. 学校は、保護者から意見を聞く機会を設けている。



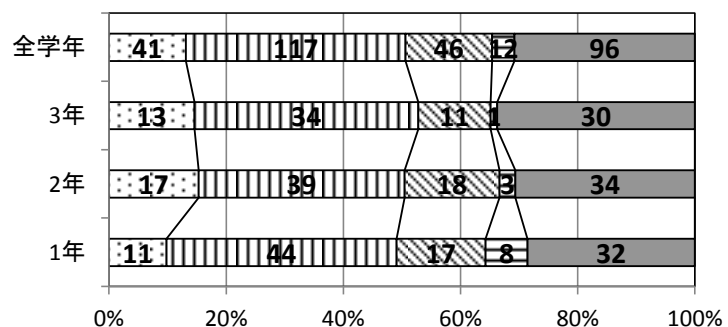
33. PTA活動に参加したことがある。



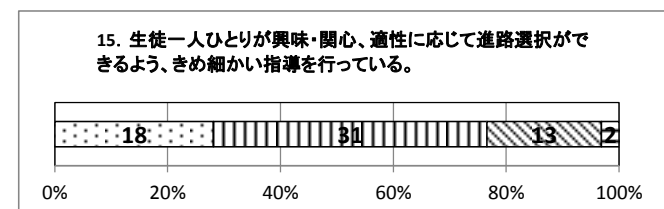
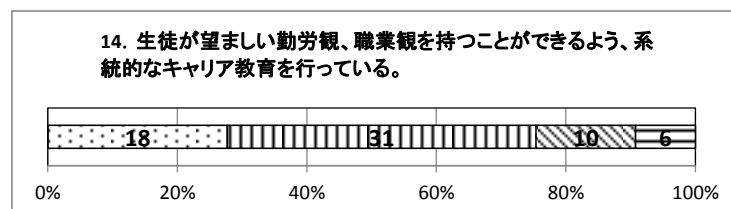
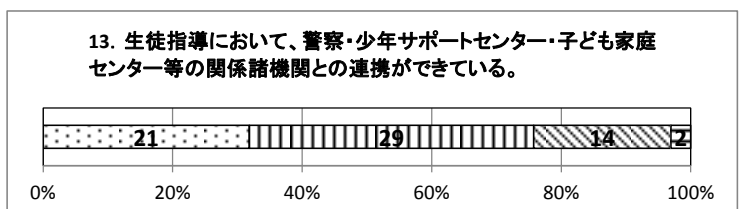
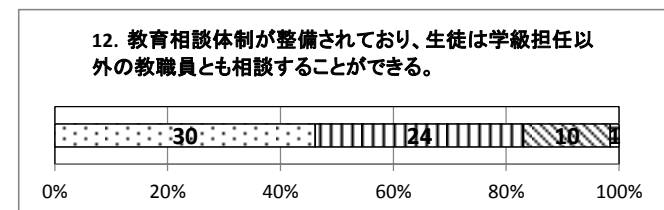
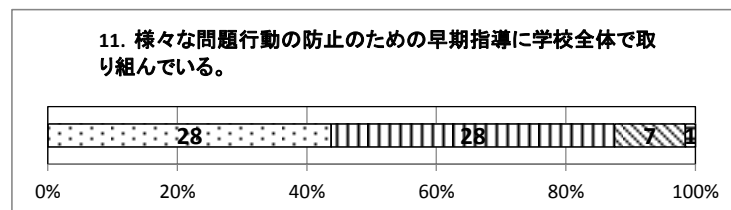
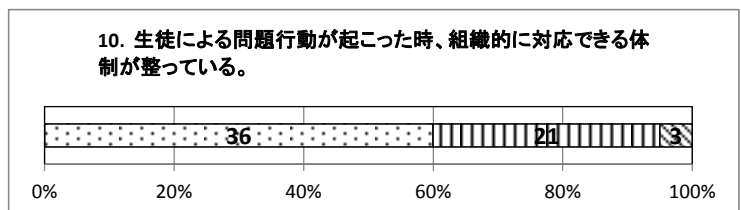
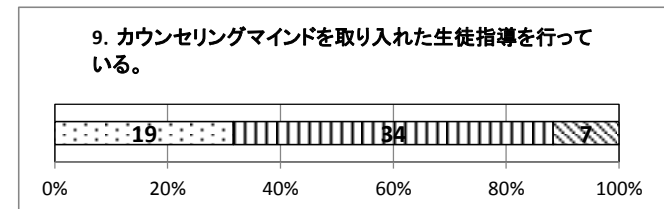
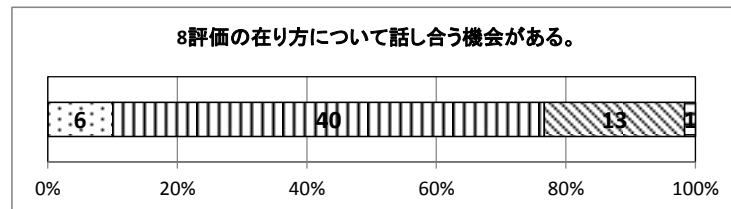
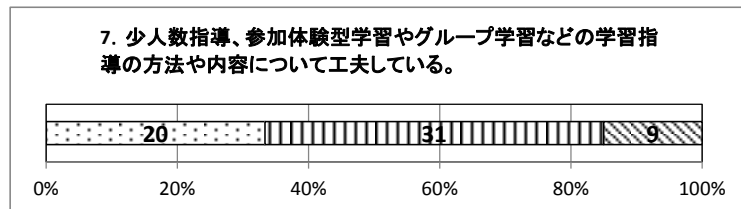
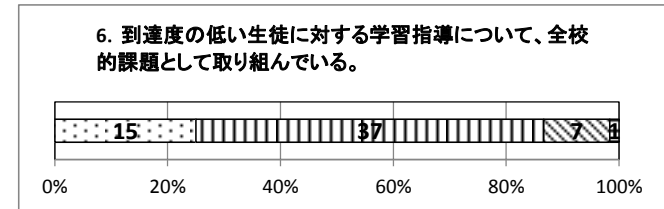
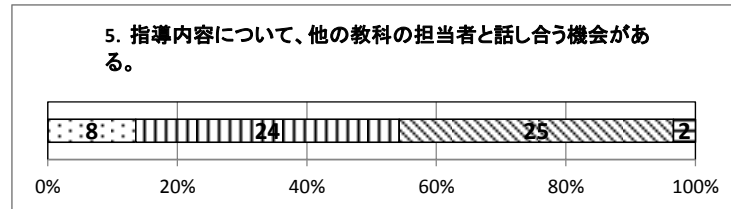
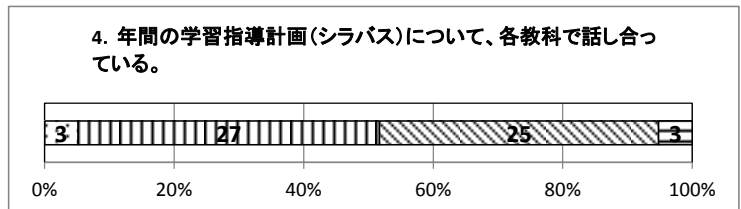
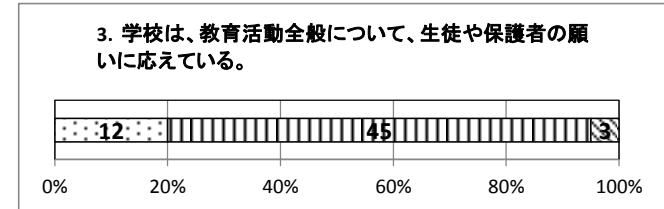
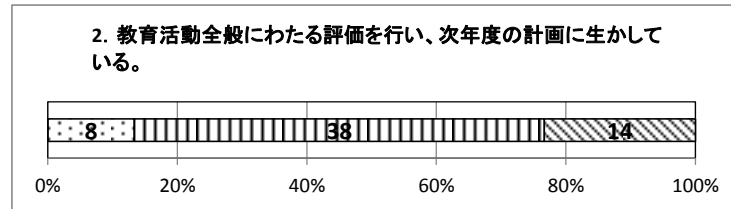
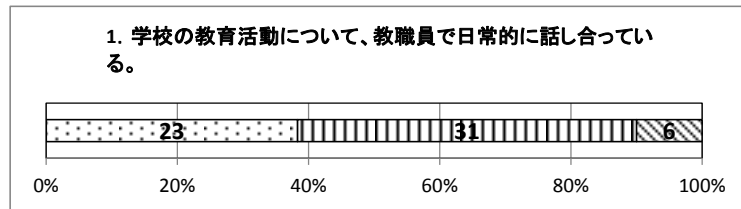
34. 学校のホームページをよく見る。



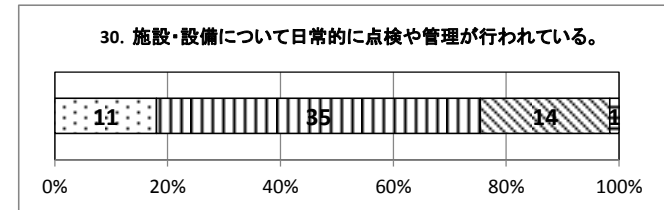
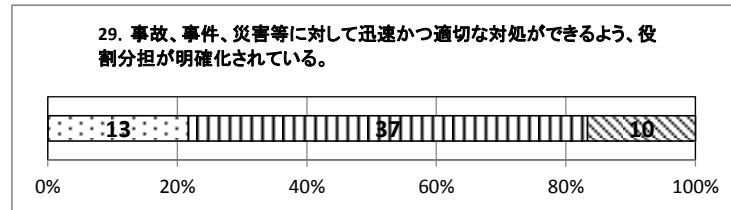
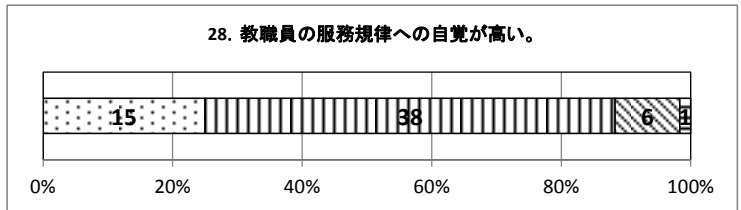
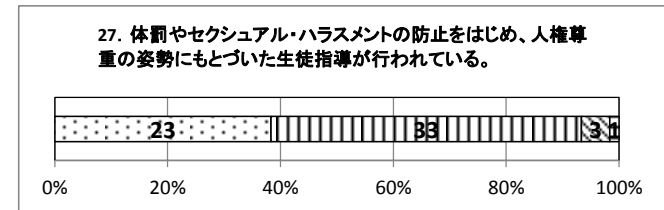
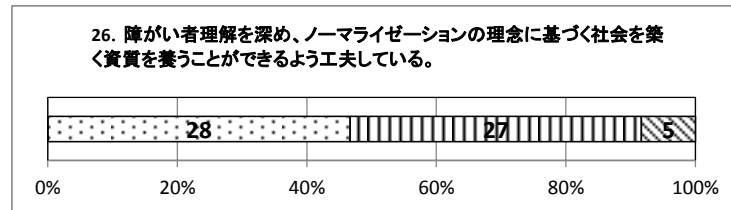
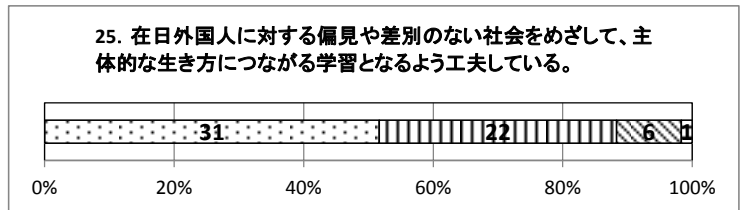
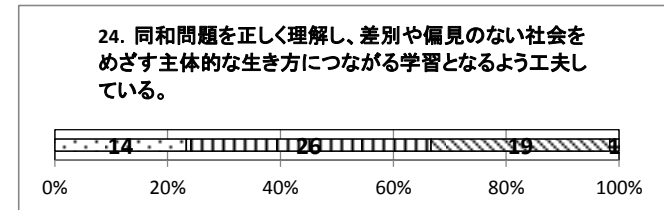
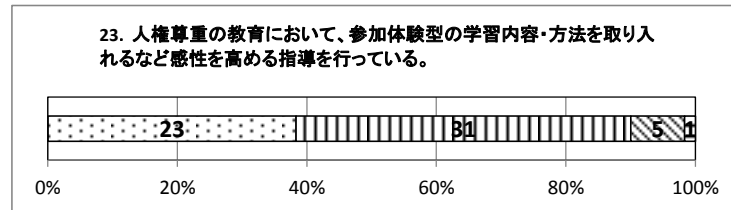
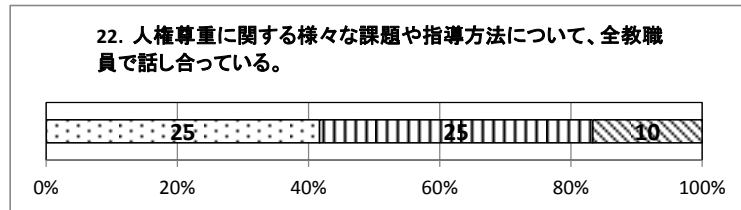
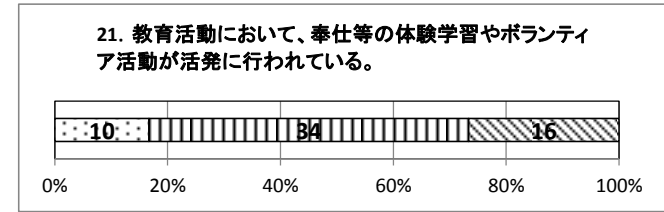
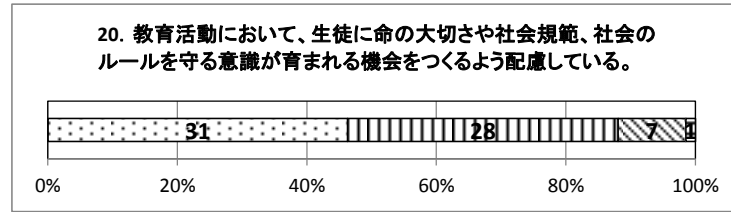
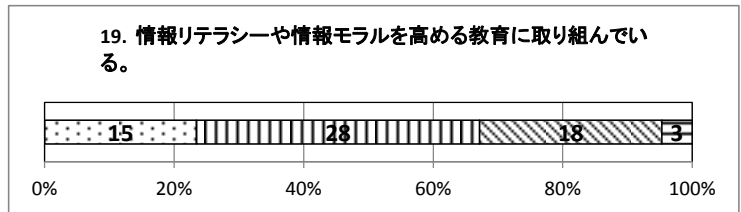
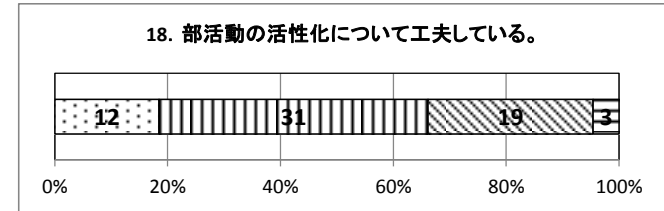
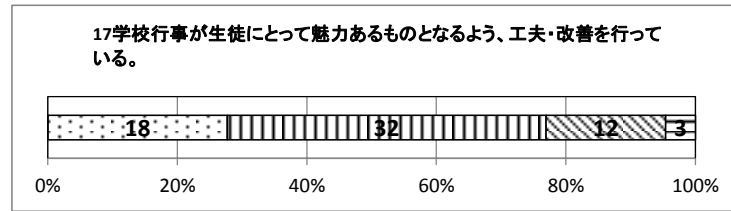
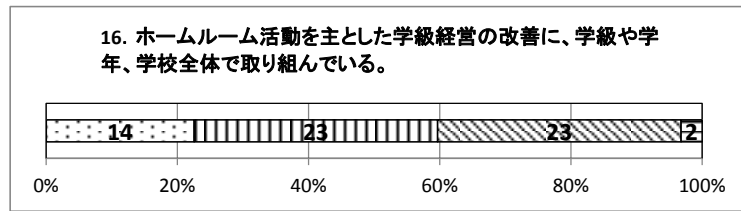
35. 学校は教育情報について、提供の努力をしている。



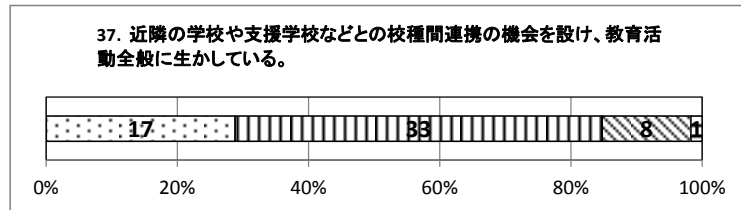
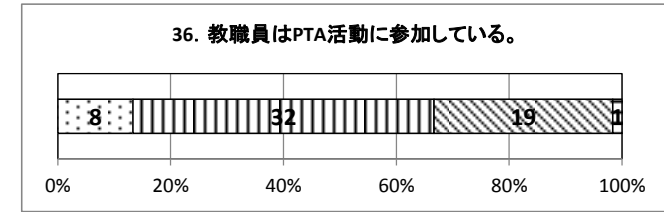
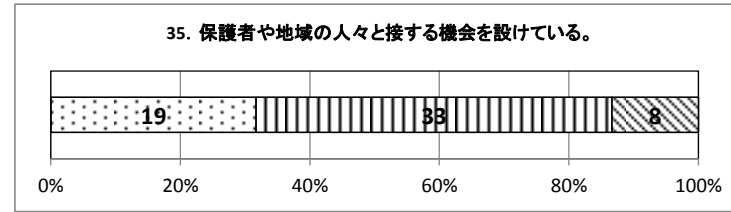
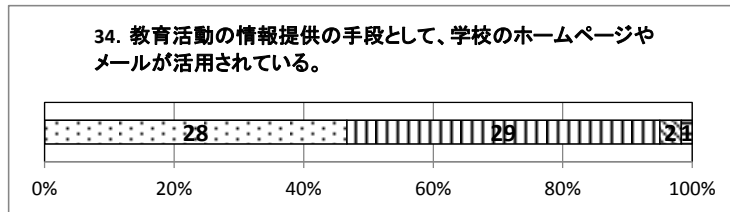
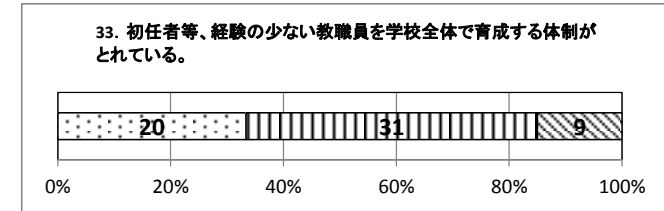
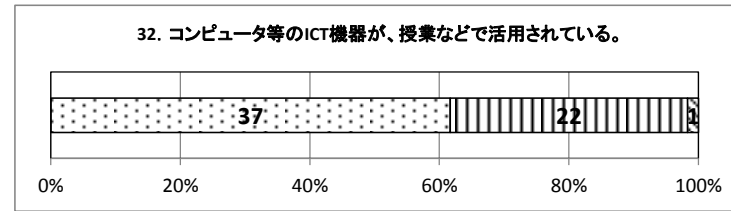
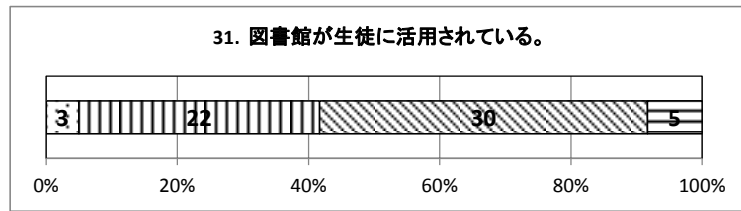
よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない
 わからない



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない



よくあてはまる
 ややあてはまる
 あまりあてはまらない
 まったくあてはまらない



よくあてはまる

ややあてはまる

あまりあてはまらない

まったくあてはまらない

【学習指導等】

- ・生徒の84（80）%、保護者の84（85）%が「この学校には他の学校にない特色がある」と答えており、生徒の多様な興味関心に応えるエリアや選択教科が高い肯定率の大きな要因となっている。
- ・「授業はわかりやすく、集中して受けることができる」が昨年度の59%から63%に上がっている。これは昨年度、全普通教室にプロジェクターとタブレット端末を導入した効果があらわれている。また「教え方に工夫をしている先生が多い」も60%から65%に上がっている。授業の視覚化が着実に進んでいるからと考えられる。
- ・「授業で自分の考えをまとめたり、パソコンなどを使用して発表する機会がある」が31%から58%に大幅に上がっている。アクティブラーニングを意識した授業が多くの教科で実践されているからである。
- ・今後、さらに授業の視覚化・構造化・協働化を進め、生徒の「つなぐチカラ」をつけさせる授業作りに全校で取り組んでいく必要がある。

【生徒指導等】

- ・生徒指導の面で87（88）%以上の保護者が生徒を正しい方向に指導していると評価しているが、生徒指導の方針に共感できるという回答は70（70）%だった。教職員の93（89）%以上が生徒指導で家庭連携ができていていると答えている。常識やマナー、他者への思いやりや配慮に重きを置く本校の生徒指導に、生徒の視点に立った納得感のある指導をおこなっていくことが必要である。生徒の71（72）%が「生活規律や学習規律の確立に力を入れている」と肯定的に捉えており、「安全で安心な学校」を維持するためにも、全教職員が生徒指導が生徒の意欲を高めるための指導だという共通認識を持つことが重要である。
- ・「文化祭は周りとは協力しておこなえる」69（74）%、「体育祭は周りとは協力しておこなえる」75（74）%であった。「部活動は活発である」は58（54）%で上がってはいるが、さらなる活性化のために、現在頑張っている結果を出している生徒を校内外にアピールし、本校の部活動を知ってもらう取組をおこないたい。今後、全ての学年で「やる気のある」生徒のリーダーシップを育成するために、生徒を中心に活動をおこなっていくようにすることが、生徒の自主性を伸ばすとともに生徒会活動や部活動さらには学校生活の活性化につながっていくものと考えられる。
- ・80（79）%の保護者が進路指導に対して肯定的に答えている。これは大阪府内平均よりも高い就職内定率や進学希望者ほぼ全員の合格率を誇る進路指導への信頼感が大きく影響している。今後も進学指導を充実させ、進路・学年が連携し進学講習等の指導に取り組む必要がある。
- ・文化祭や体育祭等の行事、部活動活性化等における生徒会役員の貢献は非常に大きい。今年度も、学校説明会などを生徒会を中心におこなった。また、全校集会では生徒会からのお知らせをおこなった。今後、さらに生徒が活躍できる場を増やせるように工夫したい。生徒会役員や生徒委員会を中心・リーダーに据え、全ての学年で生徒会活動への理解を深める必要がある。

【学校運営等】

- ・「学校に行くのが楽しい」は62（64）%、「自分のクラスは楽しい」は67（70）%で昨年度より下がっている。来年度は「生徒ファースト」をテーマに学校の全ての教育活動を検討し、満足度をあげたい。
- ・「相談に適切に応じている」と答えた保護者は83（83）%であった。今後には連携を密にして共通認識を持つことが必要である。一方「困っていることに真剣に対応してくれる」と答えた生徒は63（57）%だった。生徒の満足度を上げるためには、教員と生徒と関わる時間（量）の確保とカウンセリングマインドをもった生徒との関わり（質）を学校全体で検討し、工夫する必要がある。
- ・「学校は、家庭への連絡や意思疎通を積極的に行っている」が71（85）%であった。これは校長ブログや学校広報Tブログなどが学校の情報を発信しているが、十分に広報できていないことが考えられる。今後もさらに学校からの情報を素早く発信できるシステム作りを考えていく必要がある。

（ ）内の数字は昨年度の結果です。